

ミュージアム自然観察路の爬虫類

文 三宅 隆 写真 三宅飛鳥

ミュージアムの裏山にある自然観察路では、今までにトカゲ科でヒガシニホントカゲが、カナヘビ科でニホンカナヘビが、ナミヘビ科で、アオダイショウ、シマヘビ、ヒバカリ、ヤマカガシが、クサリヘビ科でニホンマムシの計4科7種類が確認されています。



アオダイショウ:この付近では最大のヘビで、ネズミなどが主食です。コンクリート壁の水抜き穴の中で寝ていることもあります。



水抜き穴の中のアオダイショウ



シマヘビ:成体にはきれいな縦じまがありますが、幼体は赤い色をしています。



ヤマカガシ:赤と緑の色の斑紋のついたヘビです。奥の牙に毒を持つ毒ヘビです。見つけても捕まえないように！



ヒバカリ:イモリの側溝付近で見かける事があります。モリアオガエルのオタマジャクシを狙っているようです。



ニホンマムシ:あまり見かけませんが、毒ヘビですので、注意しましょう。



ヒガシニホントカゲ:成体は、つやのある褐色ですが、幼体は青い色をしています。



ニホンカナヘビ:よく見かけます。尾の細長いトカゲです。